事業者向け　**児童発達支援　自己評価表**

職員計7名在籍

公表　**令和　4年2月14日**

事業所名　ここ　ぷらす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	5	・広さは十分ではないが、活動を2グループに分けて行うなど工夫している。 ・環境設定を行うことで工夫している。	・職員間で空間の活用方法の工夫を行い環境設定を今後も行います。
	②	職員の配置数は適切である	9			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所への設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		・バリアフリーでない所もあるが気をつけている。怪我をしないよう棚の角にはカバーをしている。 ・部屋間の段差を板をつけてなくしている。 ・毎回活動前にホワイトボードに日程を書き出し見通しがもてるようにしている。 ・バリアフリーでない部分もあるが対	個々に応じた情報伝達を職員と丁寧に今後も行ってまいります。
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間となっている。	9		・毎日掃除を行い環境設定をしている。 ・療育後の掃除を徹底して行っている ・毎日AM/PMで療育後掃除、アルコール消毒を行っている。	安心して利用して頂くよう、チェックシートを使って車内、室内掃除、小まめなアルコール消毒をその都度行っております。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための、ＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	4	日々の朝礼、終礼や月に一度の事業所内会議を行っています。 活動の目的などは朝礼時に職員全員に周知し共有を図っている。	終礼時に活動の改善点や良かった点などを情報共有しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		・保護者の方へアンケートを行っている。	
	⑦	事業所向け自己評価表および、保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	9		・会社のHPで公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		・月に一度、職員研修を行っている。	・月に一度、会議・職員研修を行っていますが、随時必要な時は研修等を今後も行ってきます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成している	9		・保護者のニーズをしっかりと聞き取り行っている。	・職員間で話合いのもと、作成を行っております。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		・こばと教材を活用しております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	9		個々にあった支援目標を設定し、支援を行っております。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・職員同士で案を出し合い、計画を立てられていると思う。 ・個人で行い、意見を求めながら行っている。	
	⑮	活動プログラムを固定化しないよう工夫している	9		・職員同士で話し合い、固定化しないように工夫している。	・遊び・音楽ダンスなどの専門チームで立案を行い月間、年間の計画を作成し、行っています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	9		・職員の意見や、保護者の意見を聞きながら作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		・外での活動の際、待機が同行かを前もって確認できておらず、毎回出発するときに確認してしまっている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	9		・終礼で一日の活動について話したり、車での道のりでも気づいた点を話し合うことができている。 ・もう少し時間がとれると良い。十分ではない。	・振り返り等は行っているが、時間を設けて密にできるよう時間の確保を行っていきたい。
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9		・3ヶ月あるいは6ヶ月に一度モニタリングで振り返っている。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連絡体制を整えている。	9		・ケース会議を行っている。	・情報共有を行いながら連携を取っています。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えている	9		・情報共有している。	・書面等で共有するようにしている。場合によって集まるようにしています。
	㉕	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		・移行支援シート、情報提供書を作成し、相互理解を図っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		・移行支援シート、情報提供書を作成し、相互理解を図っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		・外部研修を行っている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある	5	4	・公園に出かけた際に触れあうことがある。	・コロナウイルス感染症対策を踏まえながら計画していきたいと思います。
	㉙	（地域自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	7		
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		・自宅送迎や保護者送迎の方には直接お話しして伝えている。 ・連絡帳のやり取りや電話でお伝えしたり、面談を行っている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	3		

保護者への説明責任等	㉜	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び、支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9			
	㉞	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		・連絡帳、電話、面談等その都度対応している。	
	㉟	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	6	・コロナの影響で実施できていない。	・コロナの影響で実施できていませんが、発表会など今後も計画していきたいと思っています。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		・毎月の予約表に、希望があれば随時面談を行っている。	
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		・予約表と別に活動内容を載せた案内を作成し療育の内容が分かるように工夫している。	
	㊳	個人情報に十分注意している	9		・すぐにシュレッターにかけたり、鍵付きロッカーに収納されている。	
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		・職員間で連携を図りながら配慮を行っています。	
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	4	・コロナの影響でできていないと思う。	
非常時の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		・事業所にマニュアルをいつでも見れるように置いている。 災害等の避難場所を「町探検」として活動に取り入れ、災害避難場所のマップを利用者と作成し提示しています。	
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っている	9		・訓練を行っている。	
	㊸	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		職員会議の際に基礎知識、対応の仕方を周知しています。	
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		・アレルギーの同意書をとっている。	
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		・ヒヤリハットは全事業所で共有している。	
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		・年間スケジュールに組み込み研修会を行っている。	
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	9		個別支援計画書に記載をし同意を得ている。	